「神明社」修繕へCF

富士見「先達の文化遺産をまもる会」が開始

富士見町先達区の住民有志でつくる「先達の文化遺産をまもる会」は、老朽化した区内の神社「神明社」の建物修繕を目的に、インターネットで不特定多数の人から資金調達をするクラウドファンディング（CF）による募金活動を始めた。同会の小林寿政代表（62）は「非常に歴史ある神社で、劣化の激しい箇所の修繕が喫緊の課題。大勢の協力をお願いしたい」と呼び掛けている。（佐々木孝彦）

修繕費をクラウドファンディングにより集めている富士見町先達区の「神明社」

同会によると、神明社は367年前の1657（明暦3）年に創建。古文書によると、諏訪高島藩第3代当主の諏訪天久院がタカ狩りの際に立ち寄り、当時無かった拝殿の建立を地元民に命じたとされる。また区内から発見された古文書を専門機関で調べたところ、地区は「かつて日本武尊（やまとたけるのみこと）が東夷征伐の帰路に通過した可能性が高い場所」（同会）ともされている。

拝殿と本殿の屋根は1988（昭和63）年、氏子が資金を出し合い修復工事を実施。その後、36年が経ち、土台や柱、板壁が朽ちていることから今回の募金活動を始めた。小林代表は「区内の人口減少で、氏子だけで資金を工面するには限界がある」とCFを活用する実情を語った。

目標金額は140万円。締め切りは11月30日。返礼品は募金3000円でお礼のメール、同1万円で神明社の御朱印と地元産米、同3万円で御朱印、米、タラの芽。CFサイトのアドレスは「https://readyfor.jp/projects/shinmeisya」。